



農業担い手メールマガジン（第197号）



「新たな農業経営指標」を活用しましょう！（3つのステップで経営改善！）

→ <http://www.maff.go.jp/j/ninaite/shihyo.html>

農業経営支援活用ガイド

→ [http://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/n\\_pamph/h25\\_guide\\_top.html](http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_pamph/h25_guide_top.html)

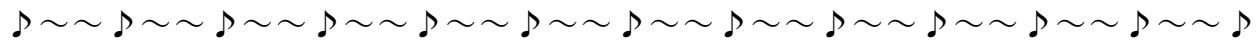
地域農業の人と農地の問題解決に向けて（パンフレット）

→ [http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito\\_nouchi\\_booklet.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi_booklet.html)

「農地中間管理機構ホットライン」

電話 03-6744-2151（受付時間 平日9時30分～17時00分）

E-mail kikou@nm.maff.go.jp



—インデックス—

○ お知らせ

1. 春の農作業安全確認運動の実施について
2. 「6次産業化サミット」の開催及び参加者の募集について
3. 「第17回日本農林漁業のトップリーダー発表大会」のご案内
4. （締め切り間近）経営体育成支援事業の事業要望調査のご案内

【お知らせ】

1. 春の農作業安全確認運動の実施について

農林水産省は、毎年約400件発生している農作業死亡事故を減少させるため、3月から5月までを農作業安全対策の重点期間として、2015年春の農作業安全確認運動を実施します。

■実施期間

平成27年3月1日（日）～平成27年5月31日（日）

## ■重要推進テーマ

「多様な視点を取り入れた具体的な農作業事故対策の推進」

## ■運動の展開方法

全国の行政機関、農機具販売、生産者団体など関係機関の協力により、研修会、講習会、展示会、個別訪問などの機会を利用し、農業者の皆さんの安全意識を向上を図ります。

その際、

- (1) 平成26年秋から開始した女性等の多様な視点に基づいた取組をさらに発展させるため、平成27年度からは、リスクアセスメント手法に基づく科学的な農作業安全対策の構築・普及や、安全装置を備えた農業機械の開発・普及など、新たな農作業事故対策にあり方について検討するとともに、ファッショナブルで機能性の高い農作業ウェアや熱中症計等の事故予防に資するグッズの利用推進等、
  - (2) これまでの事故調査内容を活用し、座談会や展示会等で農作業に関心を持ってもらえるような効果的な啓発資材の検討、
  - (3) 平成25年から推進している「+（ぷらす）安全」（農業者が参加する多種多様な会議、集会、講習会、イベント等で安全の話題をプラスしてもらうこと）をさらに進め、より多くの農業者への農作業安全の意識定着、
  - (4) 農作業安全ステッカー（※）等の啓発資材を用いた注意喚起など、事故防止に向けた取組を展開します。
- （※） 農作業安全ステッカーは、行政機関、農機具販売、生産者団体など運動参加団体を通して農業者に配布しています。

## ■2015年 春の農作業安全確認運動の実施について（プレスリリース）

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/sien/150219.html>

## ■お問合せ先

生産局農産部技術普及課生産資材対策室

担当者：機械開発・安全指導班 齊賀、江頭

電話：03-6744-2111 FAX：03-3597-0142

## 2. 「6次産業化サミット」の開催及び参加者の募集について

農林水産省は、平成27年3月20日（金）に農林水産省本館7階講堂において「6次産業化サミット」を開催します。

農山漁村の活性化、地方創世を図っていくためには、農林水産物等の地域資源の付加価値を高める6次産業化の取組を進め、農林漁業者の所得の向上及び農山漁村における雇用機会の創出を図っていくことが重要です。当サミットでは、こうした取組を全国に拡大するため、「農山漁村の価値を生かし、輝かせるために」をテーマとして、6次産業化の実践者等による基調講演及びパネルディスカッションを行います。

6次産業化に関心のある事業者、団体、地方自治体等の方であればどなたでも参加

が可能です。ご参加いただくには下記申込み方法をご参照の上、3月12日（木）17:00までにお申し込みください。

■開催日時及び場所

日時：平成27年3月20日（金） 12:30～16:00

会場：農林水産省本館7階 講堂（東京都千代田区霞が関1-2-1）

■プログラム

<基調講演>

- ・農事組合法人和郷園 代表理事 木内 博一氏
- ・野村アグリプランニング&アドバイザー株式会社 取締役社長 西澤 隆氏

<パネルディスカッション>

テーマ：「農山漁村の価値を生かし、輝かせるために」

事業者からの取組事例紹介

- ・有限会社池田牧場 取締役 池田 喜久子氏
- ・株式会社まちづくり宗像館長 山崎 宏幸氏
- ・島根県浜田市長 久保田 章市氏
- ・株式会社農林漁業成長産業化支援機構 代表取締役社長 大多和 巖氏

■参加申込要領（申込締切：平成27年3月12日（木））

参加を希望される場合は、インターネットまたはFAXにて、以下のお申込先に、「6次産業化サミット」への参加を希望する旨、ご氏名（ふりがな）、ご連絡先（電話番号、メールアドレス（FAX番号））、勤務先・所属団体名等を明記の上、お申込みください。

参加可能人数は300名程度となり、申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

<インターネットによるお申込先>

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/8ade.html>

<FAXによるお申込先>

宛先：農林水産省 食料産業局 産業連携課 産業連携ネットワーク事務局宛て  
FAX番号：03-6738-6475

=====  
3. 「第17回日本農林漁業のトップリーダー発表大会」のご案内  
=====

3月10日（火）に日本農林漁業振興協議会主催（農林水産省後援）で、「第17回日本農林漁業トップリーダー発表大会」が開催されますのでご案内します。

本大会は農林漁業者、消費者、農林漁業の次世代を担う方々を対象として、農林水産祭の天皇杯受賞者等が自らの体験、実績、主張等を発表し、その啓蒙、普及等を通じて参加者の皆様の技術や経営力の向上、ひいては農林漁業の振興、発展に寄与することを目的としています。

ご参加ご希望の場合、以下の申込方法等を参考にお申込み下さい。

## ■開催テーマ

日本農林漁業の未来を拓く ―トップリーダーからの情報発信―

(農林漁業の経営と技術の革新、食の安全・安心の確保、食料自給率の向上、健全な農山漁村の再構築)

## ■開催日時及び場所

日時：平成27年3月10日(火) 10:00～16:30

場所：東京大学弥生講堂一条ホール(東京都文京区弥生1-1-1)

主催：日本農林漁業振興協議会(農林水産省後援)

## ■プログラム

※受付：9:10～10:00

### <基調講演>

「農業6次産業化への取り組みと課題―緑の牧場を豚のテーマパークに―」  
株式会社埼玉種畜牧場(サイボクハム)社長 笹崎 静雄氏

### <事例発表>

- ・大塚 裕樹氏・早苗氏 夫妻(北海道石狩郡新篠津村)  
(平成26年度農林水産祭 日本農林漁業振興会長賞園芸部門、輝く女性特別賞受賞)
- ・小野田 裕二氏・倫恵氏 夫妻(愛知県西尾市)  
(平成26年度農林水産祭 天皇杯 農産部門受賞)
- ・農事組合法人世羅幸水農園 代表 原田 修氏(広島県世羅郡世羅町)  
(平成26年度農林水産祭 天皇杯 園芸部門受賞)
- ・佐藤 宏弥氏・博子氏 夫妻(茨城県常総市)  
(平成26年度農林水産祭 天皇杯 畜産部門受賞)
- ・山川 弘保氏(岐阜県郡上市)  
(平成26年度農林水産祭 天皇杯 林産部門受賞)

### <大会講評>

東京大学大学院農学生命科学研究科国際環境経済学研究室教授  
鈴木 宜弘氏

## ■参加申込方法

### (1)参加費

会場費・資料代として2,000円

### (2)申込方法

日本農林漁業振興協議会事務局へ、メールかFAXでお申し込み下さい。

E-mail: [jfc@blue.ocn.ne.jp](mailto:jfc@blue.ocn.ne.jp)

FAX: 03-3251-0555

## ■本大会について(日本農林漁業振興協議会ホームページ)

<http://www4.ocn.ne.jp/~jfc/taikai.html>

## ■お問合せ先

日本農林漁業振興協議会

電話・FAX: 03-3251-0555

=====  
4. (締め切り間近) 経営体育成支援事業の事業要望調査のご案内  
=====

経営体育成支援事業では、現在、平成27年度予算における事業要望調査を実施しています。事業の活用をお考えの方は、締め切りが近づいて参りましたので、最寄りの市町村にお急ぎご相談下さい。

事業要望調査期日：3月13日まで

※この期日は都道府県が国に申請する期日です。皆様が市町村に申請する期日は、市町村によって異なりますので、市町村にご確認下さい。

－経営体育成支援事業－

経営体育成支援事業は、経営改善に取り組む際に必要な農業用機械の導入を支援しており、平成27年度当初予算で32億円を措置しています（補助率：事業費10分の3以内）。平成27年度当初予算では、従来と同様に経営面積の拡大に取り組む経営体だけでなく、経営の多角化、農産物の高付加価値化など経営発展に向けて取り組む地域の担い手の方の多様なニーズに対応した農業用機械・施設等の導入を支援します。

事業の詳細につきましては、最寄りの市町村へお問合せ下さい。

■ 経営体育成支援事業（農林水産省ホームページ）

[http://www.maff.go.jp/j/keiei/keikou/kouzou\\_taisaku/27\\_shien/index.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/keikou/kouzou_taisaku/27_shien/index.html)

■ お問合せ先

最寄りの市町村

◇◇◇編集後記◇◇◇

春の訪れを感じさせる日も出てきました。花粉症の方にはつらい季節の到来ですが、皆様におかれましては、春以降の農作業の準備にお忙しくされてるかと思います。

3月1日から春の農作業安全確認運動が開始されますが、農業は作業中の事故が非常に多い産業で、一般的に多いと思われがちな建設業よりも事故件数が多いと言われます。しっかりと準備を行っていただき、安全な農作業を心がけるようお願い致します。（住田）

(facebookもやっています！)

経営局facebook～農業経営者新時代ネットワーク（※登録なしで閲覧できます。）

→ <http://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/38f2.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月1回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：住田

☆ 農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

→ [http://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/index.html#ninaite](http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/index.html#ninaite)

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ [http://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/n\\_hyousyou/hyousyou\\_merumaga.html](http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html)

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

